

P-95 より医療現場の実態に即した医薬品温度管理を目指して

○久岡 清子¹、増田 博也¹、佐々木 健志¹、鹿沼 奈央¹、川村 大輔¹、坂本 真衣¹、吉川 真央²、佐野 政信²

¹医療法人育和会 育和会記念病院 薬剤部、²(株)オブジェクト

【目的】医療現場において医薬品冷蔵庫は的確な温度管理が望まれる。そのため外気温の影響を受けにくく、温度記録が取れるものが、医薬品冷蔵庫として流通している。しかし薬剤師が病棟での薬品管理を行うようになり、各病棟に沢山の医薬品を在庫する必要はなくなり、数個の坐薬やインスリン、点眼薬等の保管に大きな医薬品冷蔵庫ではなく、家庭用冷蔵庫や小型のショーウィンド型の冷蔵庫を設置している施設も多い。当院でもスペース等の問題から、6病棟すべてで小型の冷蔵庫を使用している。庫内温度の変化が激しいと思われる冷蔵庫での薬剤保管には不安があったため、実際の液体の温度変化を継続測定し、管理の方法を試みることにした。**【方法】**OBJECT Remote Monitor Systemで以下の項目をモニタリングした。・3ヶ所の病棟において、冷蔵庫内の3ヶ所の温度・冷蔵庫内の水温および室温と湿度**【結果】**3つの冷蔵庫の性能には個体差があること、冷蔵庫内も測定ポイントによって差があることがわかった。また庫内温度は $-1 \sim 13^{\circ}\text{C}$ を数分間隔で変化しているが、水温は $5 \sim 7^{\circ}\text{C}$ を緩やかに変化していることが示された。**【考按】**庫内の激しい温度変化に比べると、中に保管する物質の温度変化は緩やかであることがわかった。しかし庫内温度に連動して約 2°C の温度差の中を変化しており、外温の変化や冷蔵庫の開閉などの刺激により影響を受けやすい。このような冷蔵庫を安心して使用するには「冷え方」などの性能を知り、モニタリングできるシステムの導入が有効であると考える。

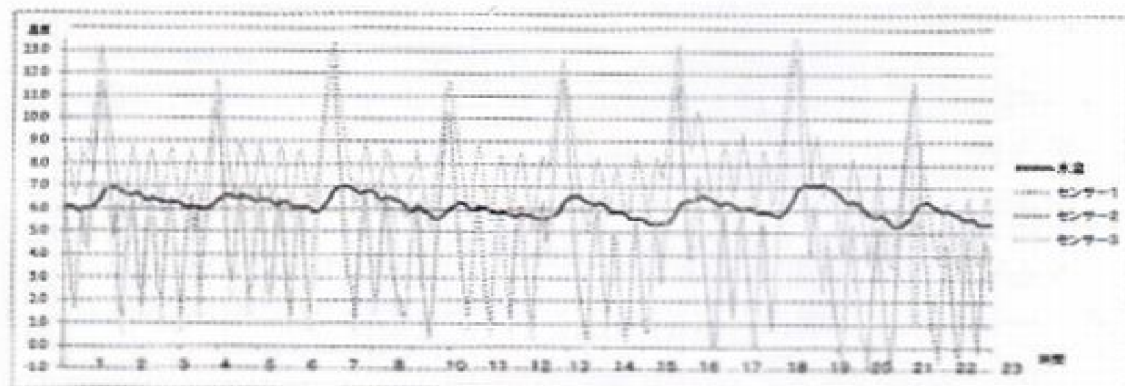


図) 冷蔵庫庫内の温度と水温の1日の変化